PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
北海道センター（札幌）
2025 年 6 月 24 日

北海道の灌漑・排水分野の知見をアフリカの開発に活かす

アフリカの行政官が北海道の土地改良区や豊穣祈願祭を見学

国際協力機構 北海道センター（札幌）では 6 月 13 日（金）から 7 月 14 日（月）まで、アフリカのフランス語圏 9 か国 13 名の行政官等を対象に「効果的な参加型灌漑管理と水利組織の能力強化（B）」と題した研修を実施しています。

日本の稲作は、2000 年以上前から行われており、長い年月をかけて灌漑管理が確立されてきましたが、一方で、北海道は泥炭地であり、コメ作りには不適と見なされていました。しかし、およそ 150 年前に政府主導により本格的な開発がスタートし、短期間で急激な発展を遂げ、今では日本有数の稲作地帯となりました。この間、北海道の土地改良区は行政の働きかけと支援を受けて設立・強化され、水利組合としての機能だけではなく、農家の主体的な参加を奨励し地域を活性化させるという地域振興の役割も担い、農業・農村開発を進める開発途上国にとって大いに参考となる好事例といえます。

今回、参加するアフリカ各国の職員等は日本での研修期間中、規模の異なる複数の土地改良区を訪問し、組織概要や施設管理、下部組織の運営、農家が行う用水管理などについて学びます。また、その見学地の一つである厚真町において開催される「第 53 回あつま田舎まつり」にて、「豊穣祈願祭」や「米のすくいどり」を見学いたします。北海道のコメ作りやコメにまつわる文化を、アフリカからの研修員がどのようなまなざしでとらえるのか、ぜひ取材をご検討ください。

PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
北海道センター（札幌）
2025 年 6 月 24 日

視察の概要

①　第 53 回あつま田舎祭り　豊穣祈願祭・米のすくいどり　視察
日時：2025 年 6 月 29 日（日）8：45～11：00
場所：厚真町表町公園（北海道勇払郡厚真町表町 45）

②　厚真土地改良区 講義・視察
日時：2025 年 6 月 30 日(月)：

13:30～13:50	移動（厚真町総合福祉センター→軽舞第 1 ダム及び第 2 ダム）
14:00～14:40	軽舞第 1 ダム、第 2 ダムの概要説明と現地で意見交換
14:40～15:00	移動（軽舞第 2 ダム→厚真町総合福祉センター）
15:00～15:15	休憩
15:15～16:00	研修成果の発表（13 分程度／人）

＊移動していることが多いと思いますので、取材の際は下記担当者の携帯までご連絡ください。
担当：岡田　080-7247-9245

■参加国および人数
ベナン 1 名、ブルキナファソ 1 名、ブルンジ 2 名、コンゴ共和国 1 名、コンゴ民主共和国 2 名、マダガスカル 1 名、マリ 1 名、セネガル 3 名、トーゴ 1 名

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道センター（札幌）研修業務課　香川　真紀
TEL：011-866-8393/080-7138-7422
E-mail：Kagawa.Maki@jica.go.jp